

フードバンク事業で
食事に困っている人を支える



社会貢献活動に取り組む一般社団法人「大分こころのケアセンター」の代表理事。今年7月、フードバンク東九州として大分市大在中央で事業を始めた。家庭や農家から寄せられた食品を困っている人に提供している。

まず周知を図ろうと、これまでにイベントを2回開催。「来場者の多さに驚いた。人の役に立ちたいと思う人が、かなりいると分かった」と手応えを感じている。



子育て世帯にも支援拡大

三好^{みよし} 修^{おさむ}さん (53)

2019年は支援を、子育て世帯にも拡大したいと考える。「子どもの健やかな成長には、野菜や果物など生鮮食品からの栄養が欠かせない。もう少し食材があればと願う家庭にも活用してほしい」

食材を多くの人に行き渡らせるため、ぬか漬けや酢漬けなどの保存食も研究。資金を募る活動も始めた。「焦らず、情報発信と普及をしていきたい」とほほ笑む。

本業は精神科医。同市内で生まれ育ち、祖父と同じ医師になった。アイオワ大(米国)に留学後、三重大学医学部講師などを経て別府市の太陽の家にいるクリニック院長を務めた。09年に大分市内に開業。労働者のメンタルヘルスを専門とする。

仕事帰りには職場近くの神社に参拝する。「反省や落ち込むのはその時間だけ。日中はマイナス感情が湧かないように意識している」。同市内で妻と長男、長女の4人で暮らす。(池田美香)